

モバイルクリニック事業「ティーンズスマート相談室」を、市内中学校、高等学校で随時開催します。

令和6年度、モバイルクリニック車両が市内中学校、高等学校へ出向き、女性特有の身体の不調などについて、婦人科医師がオンラインで相談を行う「ティーンズスマート相談室」の試行を中学校1校、高等学校1校で行いました。

試行結果を受け、令和7年度は、随時市内中学校、高等学校に展開します。

1 主旨

女性特有の身体に関する不調・悩みが増える思春期には、「自分の症状をうまく表現できない」、「相談すべきことなのかわからない」、「誰に相談してよいかわからない」、「婦人科の受診に抵抗がある」といった問題があります。

このような問題を軽減するために、モバイルクリニック車両が市内学校へ出向き、婦人科クリニックとの間に通信環境を設けオンライン婦人科相談を行います。

2 実施内容

- ・対象者 女子生徒、又は保護者
- ・場所 市内中学校、高等学校
- ・内容 婦人科医師とのオンライン相談、アドバイス実施、必要に応じてエコー検査

3 令和6年度試行結果

別紙

4 スケジュール

開催について調整が図れた学校から随時実施します。

添付資料 ④ ・ 無 「ティーンズスマート相談室」説明資料

**令和 6 年度
モバイルクリニック事業
ティーンズスマート相談室**

若年層への健康相談（実証）

中学校・高等学校における オンライン婦人科相談の結果報告

主旨

月経に関する問題・悩みが増える思春期の女子生徒には、症状をうまく表現できない、相談してよいことなのかわからない、どこに相談してよいかわからないといった悩みがあります。

このような悩みを軽減するために、伊那市医師会所属の婦人科クリニックと中学校との間に通信環境を設け、オンラインで婦人科相談できるようにしました。

若年層への健康相談（実証）

女子中高生が身体的な不調に関して気軽に相談できる
婦人科相談窓口が求められている

課題



中高生(生徒)

- ・相談できる場所
- ・正しい知識



学校(教諭)

- ・医療的な専門知識



保護者

- ・正しい知識
- ・家庭での会話機会



婦人科医院
(医師)

- ・知識の提供機会
- ・学校との連携

中高生が
気軽に相談
できる
婦人科窓口
がない

解決策



伊那市内 中学・高校

- ・相談窓口提供
- ・正しい知識の学習機会
- ・学校と医療機関との連携
- ・モバイルクリニック 若年層への活用

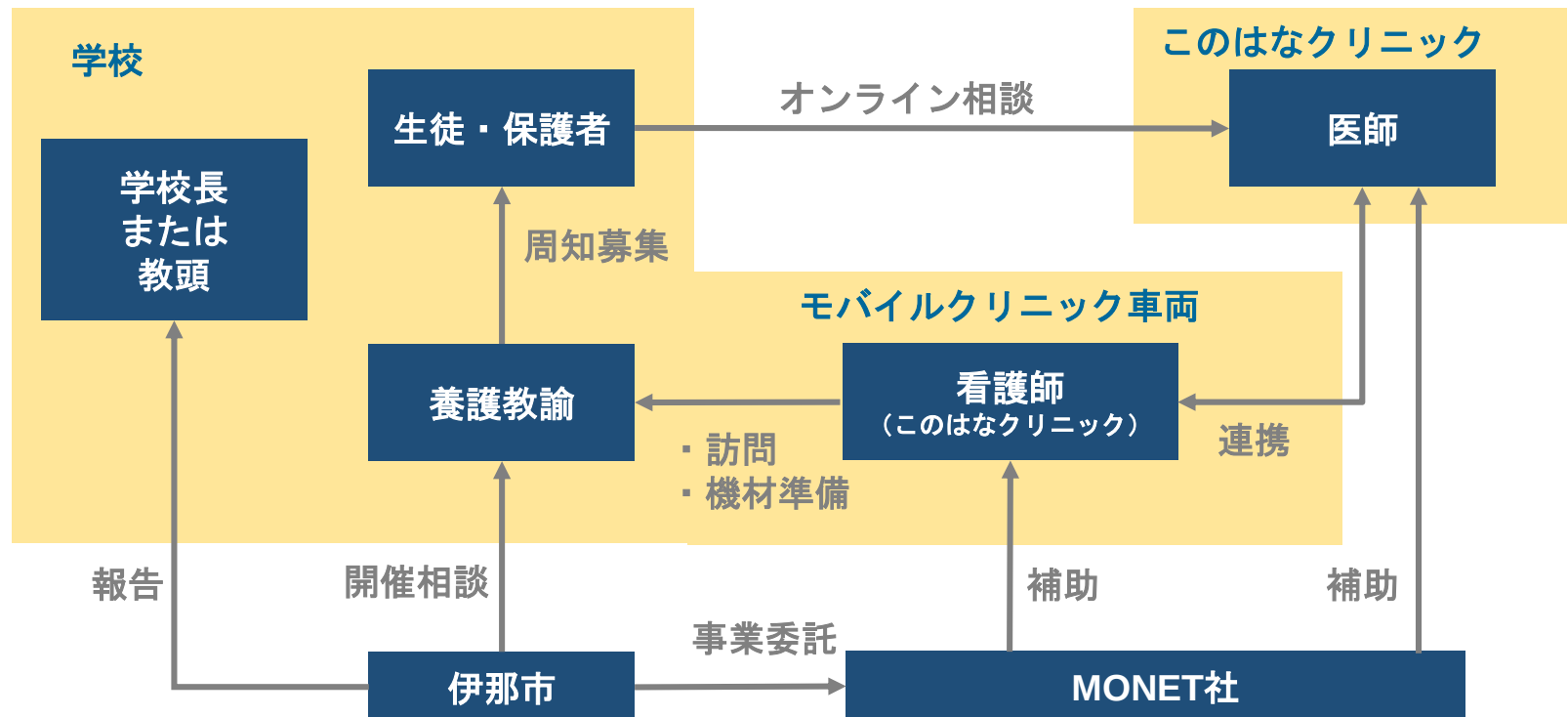


モバイルエコー

若年層への健康相談（実証）

このはなクリニック協力により **ティーンズスマート相談室**を開催

- このはなクリニック 山田医師よりご提案を受けて検討開始
- モバイルクリニック車両が学校を訪問 ➡ オンラインで医師に相談



若年層への健康相談（実証）

ティーンズスマート相談室 実施内容

1 回目

- ・ 日程：令和6年11月7日
- ・ 場所：市内中学校



（医師）

クリニック側の様子

2 回目

- ・ 日程：令和7年3月13日
- ・ 場所：市内高等学校



使用したエコー（車両内）



クリニックでのエコー&Zoom画面



（看護師）

（生徒）

（MONET担当）

学校側の様子

若年層への健康相談（実証）

ティーンズスマート相談室 主な相談内容



生徒

- 月経痛の症状相談
- 痛み止めの服用について
- エコー機器での確認・アドバイス
- 婦人科の受診について

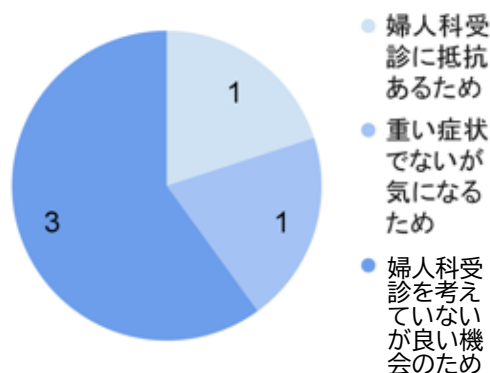


保護者

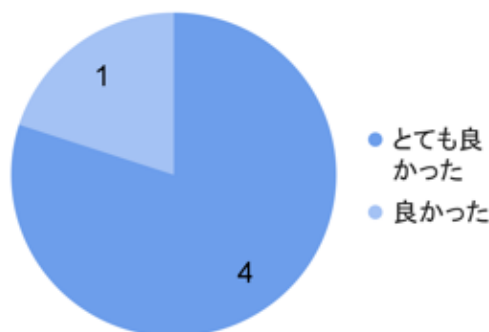
- 子供のHPVワクチンについて
- 子供の月経相談
- 婦人科受診の目安について
- 体調不良・メンタル不調について

アンケート結果

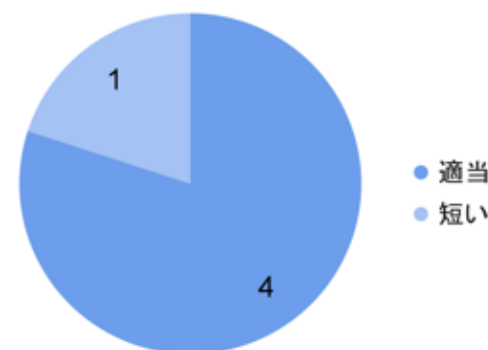
Q1. 利用した理由（N=5）



Q2. 相談した感想（N=5）



Q3. 相談時間（N=5）



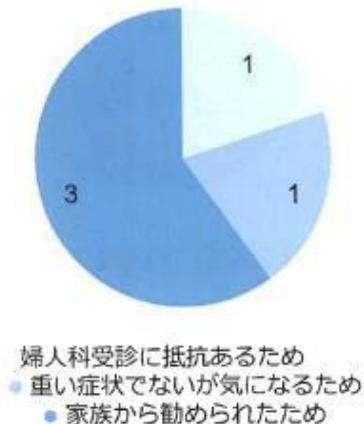
Q4. 事業へ望むことがあれば自由に記入

- 今回の相談室のような機会が今後継続してほしい
- とてもよい機会を頂いた

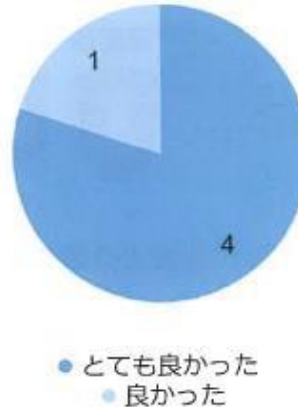
※ 市内中学校でのアンケート結果

若年層への健康相談（実証）

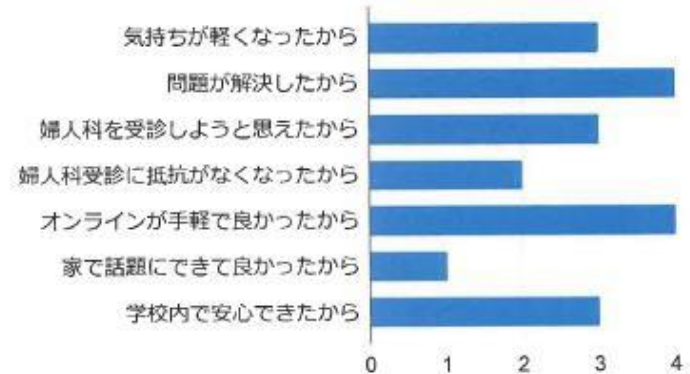
Q1. 利用した理由（N=5）



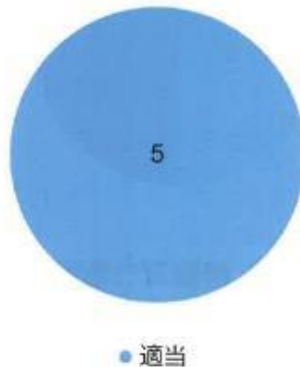
Q2. 相談した感想（N=5）



Q2. 回答理由について（回答は複数選択可）



Q3. 相談時間（N=5）



Q4. 相談した感想（N=2）



生徒・保護者

これからも相談事業を続けて欲しいです。



生徒・保護者

内科か婦人科の受診で悩んでいましたが、具体的な対策をお聞きでき、とてもありがたかったです。婦人科の敷居が高いと思っている方も多いため、ぜひ続けて頂けるとありがたいです。

※ 市内高等学校でのアンケート結果

若年層への健康相談（実証）

オンライン相談を担当する婦人科クリニック このはなクリニック 山田医師コメント

思ったより保護者の相談が多かったが、学校で相談できる場があるということで、家庭内においての親子での不安解消につながって良かった。

婦人科相談という名称について抵抗感があると感じる方もいるということで、「ティーンズスマート相談室」という名称を使い、市内中学校で実施。今後も、この名称でスマートに相談を受け付けていきたいと考えています。

期待する効果

婦人科相談を希望する生徒の潜在的な需要があると考え、ご家庭での相談、学校保健室での相談に加えて、オンライン婦人科相談室（ティーンズスマート相談室）という窓口が1つ増えることでの女子生徒の不安感の軽減効果を期待しています。



令和6年度の実証結果をもとにして、令和7年度は、市内6中学校および4高等学校にティーンズスマート相談室の開催を打診していきます。